

齋藤史郎先生を偲んで

齋藤史郎先生のご逝去に当たり、心よりお悔やみを申し上げますと共に、永年賜りました温かいご指導に厚く御礼申し上げます。

齋藤先生は、昭和29年東京大学医学部を卒業され、昭和35年から12年間東京大学医学部第1内科助手として勤務された後、昭和47年に徳島大学中央臨床検査部教授に就任されました。そして昭和57年より平成8年に定年退職されるまで、14年間に亘り医学部内科学第一講座教授として教室の発展にご尽力されました。この間、それまで血液内科学、神経内科学を二つの大きな柱として来た内科学第一講座に、自らが専門とされてきた内分泌代謝学の研究室を新たに設立されました。そして中央臨床検査部教授時代から進めてこられた数多くのホルモン測定法の開発を推進され、これらを駆使して多様な病態における各種ホルモンの動態を詳細に解明され、多くの成果を上げられました。これらの実績を背景に、日本内科学会評議員、日本内分泌学会理事などを歴任されました。

齋藤先生は管理運営面でも類いまれな力を発揮され、徳島大学医学部附属病院長、医学部長を歴任し、医学部および附属病院の発展に多大な貢献をされました。また退任後には平成9年より15年まで徳島大学長として徳島大学の発展にご尽力されました。徳島大学長に就任されてからは、教育研究環境の整備に尽力され、大学院独立専攻としてプロテオミクス医科学専攻を立ち上げられ、これがその後の大学院部局化の達成にとって重要な先鞭となりました。また、疾患プロテオゲノム研究センターの前身であるゲノム機能研究センターの設立に当たり強力なリーダーシップを発揮され、徳島大学を代表する研究成果を上げるセンターにまで育て上げられました。平成28年度からは、疾患プロテオゲノム研究センターは疾患酵素学研究センターおよび私共の在籍する藤井節郎記念医科学センター、糖尿病臨床・研究開発センターと統合し、先端酵素学研究所として新たな一步を踏み出すこととなりました。徳島大学の研究を牽引する一大統合研究施設の設定を齋藤先生にお見せできなかったことは大変心残りの限りですが、齋藤先生も必ずやお喜び頂けるものと確信しております。

齋藤先生は、留学生センターの新設や世界の16大学との学術交流協定の締結など、徳島大学の国際化にも尽力されました。また産官学連携の推進にも熱心に取り組みられ、リエゾンオフィスの設置や四国を結集したテクノネットワーク四国の設置など、数々の新機軸を打ち立てられました。これらは、産官学連携事業の発展や知的財産の確保に関わる徳島大学のその後の取組の基盤となりました。これらの齋藤史郎先生の多大な功績に対し、平成19年には瑞宝重光章が授与されました。

この様に齋藤史郎先生は、極めて明晰かつ鋭利な頭脳の持ち主として、瞬時に的確かつ合理的な決断をされ、徳島大学をはじめ多くの組織において欠かせない指導者として組織を発展に導いてこられました。一方で、その真摯なお人柄をもって誰に対しても公平無私で、周囲の皆から心より信頼されると共に、慕われ親しまれて来られました。齋藤先生の内科学第一講座教授ご退任後に教室を引き継がせて頂き、齋藤先生のご指導を受け温かく育てて頂きました者の一人として、先生の偉業に心より敬意を払わせて頂きますと共に、残された者の一人として更に一層の発展に向けて努力しなければならないと心に誓うものであります。

齋藤史郎先生のご逝去に当たり心より哀悼の意を表させていただきますと共に、齋藤先生の偉業に深い敬意と感謝を捧げつつ、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成28年3月28日

徳島大学 藤井節郎記念医科学センター
松本俊夫

略 歴



齋藤史郎（さいとう しろう）

昭和5年9月16日－平成28年2月19日（満85歳没）

元徳島大学長

【出身】新潟県三条市

【学歴】東京大学医学部卒業（昭和29年）

東京大学大学院生物系研究科第一臨床医学専門課程博士課程修了（昭和34年）

【職歴】東京大学医学部附属病院助手（昭和35年8月～昭和40年1月）

東京大学医学部附属病院助手（昭和46年12月～昭和47年11月）

徳島大学医学部附属病院中央臨床検査部教授 昇任（昭和47年11月）

徳島大学医学部附属臨床検査技師学校長（昭和49年4月～昭和59年3月）

徳島大学医学部臨床検査学教授 就任（昭和56年7月）

徳島大学医学部内科学第一講座教授 就任（昭和57年10月）

徳島大学医学部附属病院長（平成元年11月～平成3年11月）

徳島大学医学部長（平成5年10月～平成7年10月）

徳島大学名誉教授（平成8年4月）

徳島大学長，徳島大学医療技術短期大学部学長（平成9年1月～平成15年1月）

徳島健祥会福祉専門学校長（平成15年4月～平成26年3月）

むくの木クリニック理事長（平成24年6月～平成28年2月）

【専門分野】内科学，内分泌代謝学

【学会活動】日本内科学会，日本内分泌学会，日本糖尿病学会などの理事，評議員

【社会活動】鳴門教育大学参与，徳島大学経営評議会委員，国立大学協会理事，大学入試センター評議員，徳島家庭裁判所委員会委員，徳島県文化振興財団理事など多数

【叙勲】瑞宝重光章（平成19年春）

【著書】『陽はのぼり人はゆく』（平成19年5月，徳島出版），『多発性内分泌腫瘍症とその遺伝子異常』（横越浩，吉本勝彦，齋藤晴比古との共著，平成元年1月，トプコ出版部），『多発性内分泌腫瘍症』（吉本勝彦との共著，平成11年1月，文光堂）